

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更

令和7年6月10日現在

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）		
（1）織りなすクーポン第2弾の実施、など	◎	令和5年10月に対象市民（同年8月1日において蕨市の住民基本台帳に登録されている者）へ5,000円分のクーポンを発送。 （総利用額：350,555,500円 利用率：96.49%）
1 みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ		
（1）市立病院の早期建替えて、安心の医療体制整備	○	令和6年1月より蕨市立病院整備検討審議会を開催。令和6年3月の第3回審議会での答申を踏まえ、同月移転建替え方針（西公民館・松原会館を含む一体的な敷地での移転建替え）を正式に決定した。 「蕨市立病院整備基本構想・基本計画」については、令和6年5月より審議会で議論を行い、令和7年1月23日の第9回審議会で答申を受け、2月にはパブリック・コメント、市民説明会を実施、3月に策定した。 令和7年6月上旬に新病院建設設計委託事業者を選定するため、3月31日よりプロポーザルを実施。
（2）健幸まちづくり（スマートウェルネスシティ）の推進	◎	令和6年3月に策定した第3次わらび健康アップ計画の中でスマートウェルネスシティ構想の推進を重点的な取組として位置付けをし、令和6年2月27日にSmartWellnessCity首長研究会へ加盟した。 また、令和6年11月30日に「ウォーキングイベントin蕨市民公園」を開催。令和7年3月に「スマートウェルネスシティ蕨アクションプラン」を策定した。
（3）蕨らしい地域包括ケアシステムを構築	△	蕨らしい地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施した。 ①地域づくりによる介護予防の推進：介護予防教室等の周知と参加者数の拡大（累計1,168人） ②包括的支援事業：地域包括支援センターの充実（総合相談件数 累計19,661件） ③生活支援体制整備：有償ボランティア事業の担い手（新規団体0件）と利用者数の拡大（有償ボランティア利用件数 累計2,370件） ④認知症総合施策：認知症初期集中支援チームの実働（累計1件）、認知症サポーター養成講座の受講者の拡大（累計374人） ⑤看護小規模多機能型居宅介護：介護と看護を一体的に提供する介護保険サービスの実施に向けて検討中。
（4）带状疱疹ワクチンへの助成	◎	蕨市带状疱疹予防接種費用助成金交付要綱を制定し、50歳以上の市民を対象に、乾燥弱毒生水痘ワクチンについては4,000円を1回、乾燥組換え带状疱疹ワクチンについては10,000円を2回を限度として、令和6年4月1日以降の接種費用に対して助成を開始。
（5）高齢者の補聴器購入費への補助	◎	令和6年4月より、65歳以上の補装具費制度（聴覚障害の身体障害手帳）の対象とならない中等度難聴の市民を対象に、補聴器の購入に要する費用の一部（40,000円を上限）の助成事業を開始。
（6）県内で最も充実した敬老祝い金の継続	◎	本市に居住する高齢者に対し敬老祝金を贈呈することにより、敬老の意を表すとともに長寿を祝うことを目的として実施しており、令和6年度は3,578人に支給した。今後も事業を継続していく。
（7）障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備	○	令和6年4月より、ドリーマ松原に拠点コーディネーターを配置し、「地域生活支援拠点等」の5つの機能のうち、「相談」及び「地域の体制づくり」を整備した。
（8）障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携	○	入所施設の整備に当たって課題となる、運営を担う法人、土地、建設資金の確保などについて、今一度見直しを行い、課題克服の方策を研究、検討を行った。
（9）精神障害のある方へのタクシー券助成	◎	令和6年3月より申請受付及び配付を行い、同年4月より助成を開始した。（令和6年度：27名配付、281枚使用）
（10）ヤングケアラー支援条例の制定	◎	令和5年12月25日～令和6年1月15日までパブリックコメントを実施し、令和6年3月21日に蕨市ヤングケアラー支援条例を制定。
（11）養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充	◎	令和6年4月1日に養育費確保支援事業補助金制度を創設し、ひとり親家庭への支援を実施。 また、令和7年度より、児童扶養手当受給家庭に子ども1人当たり2万円の特別給付金を支給する「ひとり親家庭等物価高騰重点支援特別給付金」を開始。
（12）地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定	◎	令和5年10月に学識経験者や関係者で構成する策定懇談会を設置し策定を進め、市民アンケート（令和5年11月から同年12月）、ワークショップ（令和6年2月22日と同年3月7日実施）、関係団体へのヒアリング調査（令和6年3月）等により、ニーズなどの把握を行った。 令和6年4月より骨子案、令和6年6月より素案の作成を進め、令和6年12月から令和7年1月にかけてパブリックコメントを実施し、令和7年2月に庁内連絡会、策定懇談会の確認を経て、令和7年3月に策定した。
（13）ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入	◎	令和5年度に、審議会等委員の女性登用率が42.8%となり、令和4年度と比較して0.9ポイント増加した。 また、蕨市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を令和5年7月に制定。令和5年度からの届出件数は、累計9件（令和5年度：5件 令和6年度：4件）

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更

令和7年6月10日現在

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
2 だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ		
(1) 災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化	○	【災害用トイレの整備】 令和6年度末までに累計で市立小・中学校全10校にテント型集合トイレを整備。自主防災会を通じてトイレ処理セットの共同購入を実施（令和5年7月：2万2,250回分 令和6年9月：1万4,795回分 計3万7,045回分）。 【水道の耐震化】 管路更新計画に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進め、重要施設配水管路の耐震適合率は、令和5年度当初の89.1%から令和6年度末時点で95.0%まで上昇した。 【大規模水害対策】 内水ハザードマップの改定について、令和6年度は、浸水シミュレーション等業務委託を実施した。 分流地区（錦町）の雨水下水道整備については、雨水管渠築造工事を実施し、分流地区雨水下水道整備率は、令和5年度当初の17.3%から令和6年度末時点で19.8%に上昇した。 災害用資機材については、令和5年度に消防本部へ2艇の救助用ボートを整備し、令和6年度に消防団（第1分団・第5分団）へ2艇を整備した。令和7年度は、残り4分団の4艇を年度内に整備完了予定。ドローンについても、令和7年度に整備予定としており、災害用資機材については令和7年度をもって全て達成予定。 令和6年5月2日に山梨県笛吹市と「災害時における相互応援に関する協定」の締結。引き続き、他自治体と広域避難に関する協定や覚書の締結に向けた協議を進めていく。
(2) 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結	◎	令和5年度中に全19か所の指定避難所に避難所運営協議会を設置。 令和6年3月28日に株式会社ルネサンスと「災害時における施設開放及び運動支援に関する協定」を締結。 令和6年5月2日に山梨県笛吹市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。 令和7年3月28日に社会福祉法人畏敬会と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結。 令和7年3月28日に特別養護老人ホームいきいきタウン蕨と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結。 令和7年5月21日に和楽備神社と「災害時における施設開放に関する協定」を締結。
(3) 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助	◎	街なか防犯カメラは、令和6年4月に全町会へ増設に関する要望照会を実施し、60基増設。家庭用防犯カメラ設置費補助（個人：上限20,000円、共同住宅：上限100,000円）は、令和6年4月より実施。
(4) 交通安全対策や振り込め詐欺被害防止のいっそうの推進	◎	自転車用ヘルメット購入費補助金（購入金額の2分の1の額で上限2,000円）及び通話録音機能付電話機購入費補助金（上限20,000円）について、予算を増額し事業を継続実施。 （自転車用ヘルメット購入費補助金：令和5年度 1,021件 令和6年度 604件、通話録音機能付電話機購入費補助金：令和5年度 59件 令和6年度 86件）
(5) 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充	◎	令和5年9月に犯罪被害者支援条例を制定し、見舞金を拡充した。
3 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ		
(1) 蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）	△	若者コーナーとしてのYAエリアとグループ学習室の整備及び、近隣市を参考にした夜間開館時間を検討中。 また、併設するカフェの機能等について調査・研究を進めている。
(2) 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急の実施	○	令和6年4月分より第2子以降の義務教育期間における蕨市立小・中学校の学校給食費無償化事業を実施。
(3) 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化	◎	令和6年4月1日診療分より、18歳までの通院にかかる医療費の助成を実施。
(4) 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれ合える公園の整備	○	【子どもの居場所づくり】 令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蕨中央」にて新たな子ども食堂を開始し、支援を実施。引き続き既存の子ども食堂実施団体へも支援している。 【公園】 自然とふれあえる公園（錦町1号公園）は、令和6年度に基本設計を実施した。引き続き、令和7年度に実施設計を行い、区画整理事業の進捗に合わせて令和8年度に整備工事を予定している。ボール遊びができる公園は、令和6年度に場所の選定及び地元説明を行い、市民公園内にボール広場を整備することが決定した。引き続き、令和7年度に実施設計、令和8年度に整備工事を予定している。
(5) 全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備	○	【トイレ洋式化】 令和7年度当初予算において、小学校3校のトイレ改修工事および小学校4校のトイレ改修工事設計委託を予算化。 【ICT環境整備（ハード）】 令和6年度に第二中学校DXルーム整備が完了し、令和7年度当初予算において東中学校DXルーム整備を予算化。
(6) 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成	◎	令和6年4月23日より、読書通帳（わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～）の配付・運用開始。 令和7年4月11日より、セカンドブックの配付開始。

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更

令和7年6月10日現在

マニフェスト項目		達成状況	取り組み内容
	(7) スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実	◎	令和6年4月より担当指導主事1名を教育センターへ配置。 令和7年度よりスクールカウンセラーを1名増員するとともに、中学校3校への校内教育支援センター（e-station）の環境整備や、専任の市費教員・支援員を配置した。
	(8) 発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充	△	医療的ケア児とその家族への支援の一環として、令和6年4月1日から日常生活用具給付事業において、給付対象となる品目の追加を行った。
	(9) 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実	◎	令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蔵中央」にて、産後ケア事業、一時保育事業、親子の居場所づくり事業を実施。 産後ケア事業委託事業所数は、令和5年度：4か所、令和6年度：11か所、令和7年度：13か所
4 楽しく、活気のあるまち蔵へ			
	(1) 蔵の未来への飛躍の核となる蔵駅西口再開発の推進・完成	○	事業施行者である組合の活動を支援する。令和5年8月に施工業者が決定、令和6年1月から施設建築物等の工事（山留工事・杭工事）に着手し、令和6年度は、施設建築物等の工事（杭工事・掘削工事・躯体工事）を行った。令和7年度以降も引き続き組合を支援し駅前広場等の公共施設を含めて令和9年度の竣工を目指す。
	(2) 中山道に「にぎわい交流拠点」を整備	○	令和5年度は先進事例の視察や関係企業へのヒアリングを通じて調査研究等に取り組むとともに、令和6年度は、にぎわい交流拠点の整備方針や導入機能を明確にするため、専門のコンサルタントによる市場調査等を実施し、令和7年3月に「蔵市仮設庁舎跡地利活用基本計画」を策定した。今後は、同計画に基づき公共機能部分（物販施設、広場等）及び民間機能部分（飲食施設等）について、それぞれ整備事業者の公募・選定を実施し、拠点整備に向けた取組を推進していく。
	(3) 駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備	△	未取得である用地について、要綱にもとづき買取りの手続きを進めた。 駅前通り一部区間（160m）の整備等については、令和7年度に基本設計、令和8年度に実施設計、令和9年度に整備工事を行う予定。
	(4) 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加	◎	令和6年1月30日に蔵市のエントリーシートが埼玉版スーパー・シティプロジェクトホームページに公開された。令和6年度にプロジェクトの1つである「にぎわい交流拠点整備事業」に対する事業化検討補助金が交付された。
	(5) 街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）	○	令和6年3月に蔵市、蔵商工会議所、金融機関、不動産、蔵市にぎわまちづくり連合会等で構成された蔵市エリアリノベーション推進協議会を設置。 令和6年11月14日に空き店舗等の有効活用等を通じたにぎわいの創出、地域経済の活性化を目的とし、蔵市、蔵商工会議所、株式会社ジェクトワン、株式会社埼玉りそな銀行の4者からなる空き店舗有効活用等の促進に関する協定を締結。 令和5年度から累計11件（令和5年度：5件 令和6年度：6件）が空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店。
	(6) 中央プールを室内プールに改修、学校とも連携	△	令和6年4月1日「蔵市 中央プール 室内温水化等に向けての庁内検討委員会」を設置し、これまでに4回庁内検討委員会を開催。中央プールを利用した水泳授業実施については検討中。
	(7) 富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフの場の確保など生涯スポーツの更なる推進	○	富士見野球場の改修は、令和6年度に完了。塚越グラウンドは、令和7年度に基本設計を行い、令和8年度に実施設計、令和9年度に整備工事に着手する予定。グラウンドゴルフ場の確保については、令和5年度に利用団体等の意向に応じて、ふるさと土橋公園を利用可能とした。引き続き、公園等での利用の場を確保していく。
	(8) 音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置	○	【音楽のまちづくり】 蔵市民音楽祭は、令和6年度は10回目の催しでもあることから2週にわたり8会場13イベントを開催し、従来のイベントの他、「子ども作曲ワーク」や「蔵マルシェfes ナツノオワリ」など新規イベントも実施した。令和5年度からの参加者の累計は、12,898人（令和5年度：6,618人 令和6年度：6,280人） 小・中学校への音楽家の派遣は、令和6年度は、7校7事業への派遣を行った。 【生涯学習】 第4次蔵市生涯学習推進計画の策定に向け、生涯学習推進庁内連絡会などで検討を進め、令和7年3月に策定した。 【公民館等へのWi-Fi設置】 令和5年10月2日より新庁舎において運用を開始。 令和5年4月から10月にかけて東・北町・中央公民館で実証実験を実施し、課題の整理を行い、運用方法やルールを決定。令和6年6月市内全公民館にて供用開始。
	(9) 現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討	△	令和6年度は文化芸術の拠点としての活用方法について、現施設の現状等も踏まえながら、関係各課で協議を行い、庁内検討委員会立ち上げの検討を行った。

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎…実施済、○…一部実施又は着手、△…検討中、★…変更

令和7年6月10日現在

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
5 住み心地の良い、日本一のエコシティ蕨へ		
(1) ゼロ・カーボンシティを宣言	◎	令和6年5月27日に蕨市ゼロ・カーボンシティ宣言を表明。
(2) 太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化	◎	地球温暖化対策設備等設置費補助金について、令和5年度は、補助金額の増額（10万円から15万円）、新たに6つの設備（電気自動車・据置型電気自動車等充給電設備（V2H）・太陽光発電システムなど）を補助対象へ追加、市内事業者を補助対象に追加し、令和7年度は、宅配ボックスを補助対象設備に追加し、拡充を行った。 令和7年度に公用車1台をEV化予定。
(3) プランター・ファームinわらびの推進	◎	令和6年、7年の苗木市において、市内農家が育てた苗木500本の無料配布を実施。プランターキットについては、令和6年4月22日から5月15日の期間で応募申請受付し、272個配布した。フォトコンテストについては、令和6年11月23日にフォトコンテスト表彰式を園芸品評会と同時開催し、60名参加。
(4) 民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施	◎	現在、民有地含め令和5年6月の15ステーションから令和7年5月末時点で38ステーションへ増設。そのうち公有地としては、令和6年11月1日に5ステーション、令和7年2月1日に1ステーション増設した。
(5) 片品村などとカーボンオフセットを推進	◎	令和6年5月20日に群馬県片品村と森林整備の実施に関する協定を締結。
(6) 錦町土地区画整理事業の更なる推進	○	令和6年度は、家屋移転18戸に加え、路線延長442.1mの街路築造工事等を実施し、整備面積は、令和6年度末時点で57.7haとなった。
(7) マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充	◎	マンション管理に関する問い合わせを随時ホームページへ掲載し、戸田市と共催でマンション管理基礎セミナーを開催。マンション管理情報誌を2回発行。また、令和7年度より月に1度マンション管理に関する相談会を実施。
6 みんなで創る未来に飛躍するまち蕨へ		
(1) 蕨駅前に行政センターとパスポートセンター整備	△	令和6年度は、行政センターでの各種証明書発行や住民票異動手続、パスポートに係る事務等に関する課題の整理及び運営体制について、近隣他市の状況等を踏まえ、関係各課で協議を行った。
(2) 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進	○	令和5年6月以降の新たな協定締結数は、11件（令和5年度：5件 令和6年度：6件） 更なる公民連携推進のための新たな制度の創設についても検討中。
(3) わらびSDGsパートナー制度の創設やSDGs提案制度の創設	◎	令和5年度にSDGs提案制度を創設。令和6年度の提案件数は5件となり、全て採択された。 令和7年5月1日より「蕨市SDGsパートナー制度」を創設。（令和7年6月10日現在：3件認定）
(4) おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置	◎	おくやみ窓口については、令和5年10月より設置。 外国人総合相談窓口については、令和5年10月より設置し、英語と中国語の話せる相談員を配置するとともに、タブレット端末やポケトーク等の翻訳機を設置。
(5) 東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定	△	東公民館での新サービスについては、塚越連絡室利用者の意見等を参考に、新サービスの選定、またその調査・研究を進めている。 塚越ビジョンについては、担当課においてビジョン策定に当たっての諸課題の整理を行い、令和7年2月に組織横断的な庁内検討組織として、「蕨市塚越ビジョン策定検討委員会」を設置し、第1回会議を6月に開催した。
(6) 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ	○	令和5年10月より、スマート窓口（異動受付支援システム）を設置。また、AI・RPAの導入、キャッシュレス決済の拡大、デジタルデバйд対策（スマホ教室など）の事業は継続して実施。 令和7年3月に令和7年度から5年間を計画期間とした「蕨市DX推進計画」を策定。

※「すぐ」：令和5年度に実行・着手、「2年」：令和7年度までに実行・着手、「4年」：令和9年度までに実行・着手、「継続」：令和9年度以降まで継続又はこれまでの取組を継続・充実

実施済み	27
一部実施又は着手	15
検討中	8
変更	0
合計	50
達成度	84%